

当社研究開発センターにおける理科教室の実施について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:松下功夫)は、CSR活動の一環として、昨9月12日、埼玉県戸田市にある当社の研究開発センター(精製技術センター、潤滑油開発センター、バイオ研究センターおよび戸田管理センターで構成)において、地元の戸田市立新曽小学校(所在地:埼玉県戸田市新曽南二丁目、校長:江川 剛、以下「新曽小」)6年生の児童を対象とした理科教室を実施いたしました。これは、新曽小が取り組んでいる「総合的学習」の一環として2004年から行っているもので、今回で3回目となります。
2. 理科教室では、学校側のねらいとする「環境教育」をテーマとし、石油会社の特性を活かしたクイズや実験等を通じて、児童たちが環境問題や科学そのものに関心を持てるよう、石油産業やその環境対策等について当社の研究員による楽しくかつわかりやすい説明が行われました。
3. 具体的には、「次世代エネルギーと環境負荷低減」、「エンジンと環境対策」および「見えないものを見る技術」と題する3つの見学コースを設け、燃料電池による発電の仕組みや自動車エンジンの仕組みを解説したほか、水素の火炎実験や走査型電子顕微鏡を用いた実験などを見学し、石油に関する技術への理解や環境問題に対する意識を高めてもらうことができました。
4. 理科教室の概要は次のとおりです。
 - (1)開催日時:2006年9月12日(火)10:00~12:00
 - (2)場所:研究開発センター(埼玉県戸田市新曽南三丁目)
 - (3)参加児童:88名
 - (4)講師:9名(当社研究員)
5. なお、当社は、各事業所における地域貢献活動にも力を入れており、理科教室や製油所見学会など、地域からの開催要望に積極的に対応していくこととしております。

以上

● 【参考資料】理科教室の様子



石油の概要説明



「バイオの力で地球をきれい」実験



「燃料電池で暮らしがかわる」実験